

姫川出張所だより Vol. 4

～ The Report From HAKUBA ～

平成27年9月吉日発行
国土交通省北陸地方整備局
松本砂防事務所 姫川出張所
Tel: 0261-72-2254 FAX: 0261-72-3544
HP: http://www.hrr.mlit.go.jp/matumoto



姫川流域の現場紹介

姫川は、長野県白馬村佐野坂に源を発し、途中において飛騨山脈等を水源とする土砂流出の激しい急流支川と合流しつつ新潟県糸魚川市で日本海に注いでいます。上流域は急峻な山岳地帯で、土砂流出の激しい支川が多くの扇状地を形成しています。中流域では稗田山などの崩壊地から多量の土砂が生産され、姫川に流入しています。本州を東西に分断する大断層「糸魚川―静岡構造線」にほぼ沿って流れる姫川は、日本有数の災害の絶えない急流河川です。(昨年度と同じ説明！)
当出張所は新潟県糸魚川市内を流れる小滝川、根知川、大所川と長野県の小谷村に流れる浦川、白馬村の松川の事業を推進しています。

糸魚川地域の工事

- 糸魚川地域で稼働中の工事(H27.9現在)
- ①中股第3号砂防堰堤その2工事
創和ジャステック建設(株)
 - ②小滝瀨野田砂防堰堤その3工事
(株)後藤組
 - ③小滝瀨野田砂防堰堤
上流護岸その2工事 (株)後藤組
 - ④大所第2号上流第2砂防堰堤
改築その2工事 (株)笠原建設
 - ⑤葛葉上流第3号床固工改築その2工事
(株)笠原建設
 - ⑥葛葉下流山腹工その7工事
北陽建設(株)

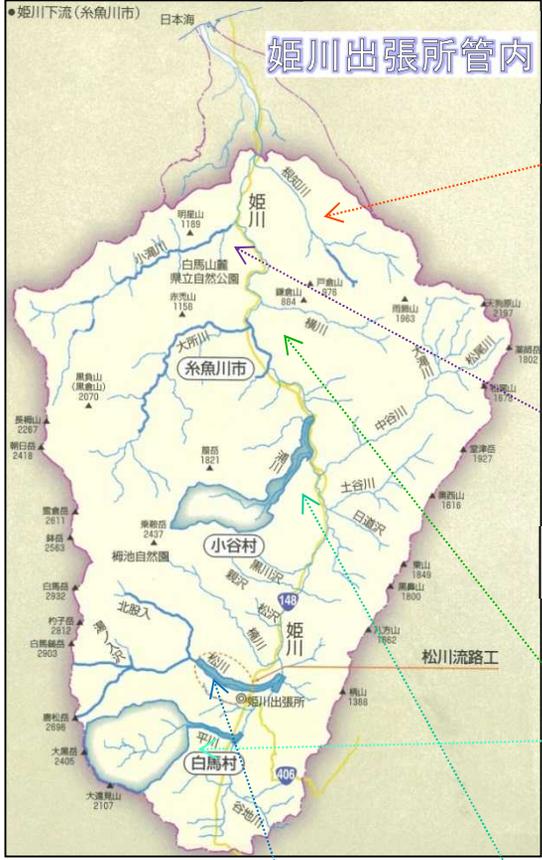
※糸魚川地域の工事は建設監督官が担当

小谷・白馬村内の工事



- 平川で稼働中の工事(H27.9現在)
- ⑧平川第2号砂防堰堤及び崩沢第4号
砂防堰堤改築その3工事
金森建設(株)
 - ⑨平川第3号砂防堰堤改築外工事
(株)今井工務店
 - ⑩平川第3号砂防堰堤改築その2工事
大糸・島崎JV

※平川流域の工事は高瀬川出張所が担当



松川・浦川流域で稼働中の工事(H27.9現在)

- ①湯ノ入沢砂防堰堤改築その4工事 姫川・落田経常JV
 - ②南股上流砂防堰堤改築その6工事 金森建設(株)
 - ③北股下流砂防堰堤改築その2工事 (株)相模組
 - ④猿倉砂防堰堤その3工事 (株)相模組
 - ⑤金山沢砂防堰堤工事 (株)傳刀組
 - ⑥浦川2号上流砂防堰堤その4工事 金森建設(株)
 - ⑦浦川下流工事用道路その2工事 (株)北野
- ※浦川・松川流域の工事は姫川出張所が担当

姫川流域での工事は平成27年9月現在、16件稼働しています。姫川における治山・治水対策は以前から、治山事業、長野県の補助砂防事業として実施されてきました。昭和34年の平川の氾濫被害地を当時の建設大臣が昭和36年に現地視察を行い、このときの地元住民からの切実な陳情により、昭和37年に姫川出張所を設立し、直轄砂防事業で取り組むこととなりました。

葛葉下流山腹工その7工事

本工事は、葛葉峠の姫川に面した斜面の安定化を図り、土砂流出を防ぐ事を目的とした工事になります。ここでは、安全面を考慮して無人化での法面掘削を行いました。この作業の下請をして頂いた施工班に、ベトナムからの実習生3人が協力してくれました。若い彼らが、国に帰った時に、この現場での経験が少しでも活きたらいいなと思っています。

現在は、掘削完了した法面に法枠工の組立を行っています。最後まで無事故・無災害で完成できるように取り組んでいきたいと思ひます。

北陽建設株式会社



⑥ベトナムからの実習生（3人もスマホにタブレットもお手の物でした）



現場代理人
小林 信敬

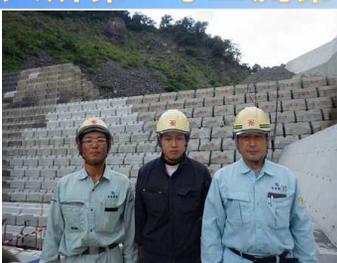


④現場全景。赤い囲みが施工範囲です。命綱を張って急斜面に施工する法枠工の鉄筋を組立えています。（矢印は全て作業を行う人です）

⑤無人化掘削作業状況。荒れ果てた山腹斜面を安定した勾配に掘削します。斜面は浮き石等も散在し、有人での作業は非常に危険なため無人化機械を採用し、遠隔操作で掘削します。

大所第2号上流第2砂防堰堤改築その2工事

株式会社笠原建設



現場代理人(右)
渋谷 洋

④左から担当技術者の安田、インターンシップの学生、そして現場代理人の渋谷

①苦労して配置したブロックの出来形計測を大学生が行いました。



当現場は既設ブロック堰堤の摩耗損傷部を撤去し、新規ブロックにて断面復旧を行う工事です。昨年度は左岸側を施工し、今年度は右岸側を施工しています。ブロックは挿入鉄筋位置の違いや再利用する・しないにより種類が多く、選別と据付場所の管理に四苦八苦しています。

お盆明けからインターンシップで大学生が職場体験で来ており、将来は「第一線で現場管理を行いたい！」と、測量や写真撮影、安全管理等に日々奮闘しています。

建設現場に興味を持ち、将来立派な技術者として現場に携わってくれることを期待しています。



④全景。当現場は比較的大きな地すべり地形を抱えていたため、地盤の変状に構造物が対応できるブロック積み堰堤です。本工事ではその部分的に老朽化したブロックの更新を行っています。



④糸魚川市立大野小学校の5年生を現場に迎え、現場で作った川と道路の模型に水を流し、「川の流れについて」の勉強を行いました。（工区が近い後藤組さんと合同で実施）

浦川第2号上流砂防堰堤その4工事

当現場は、乗鞍岳を源流とする唐松沢と日本三大崩れの稗田山を抱える金山沢が合流する地点から約100m下流に砂防堰堤を新設する工事です。本年度は堤体左岸底部の施工範囲ですが、左岸側の法面が不安定なことから、法面対策工の施工を先行して行っております。本堤のコンクリートを打設するため、少しずつ掘削を進めながら鉄筋挿入工を施工しています。当地は豪雪地帯である為、実施工日数は後僅かですが、無事故で完成に向け頑張っていきたいと思っております。

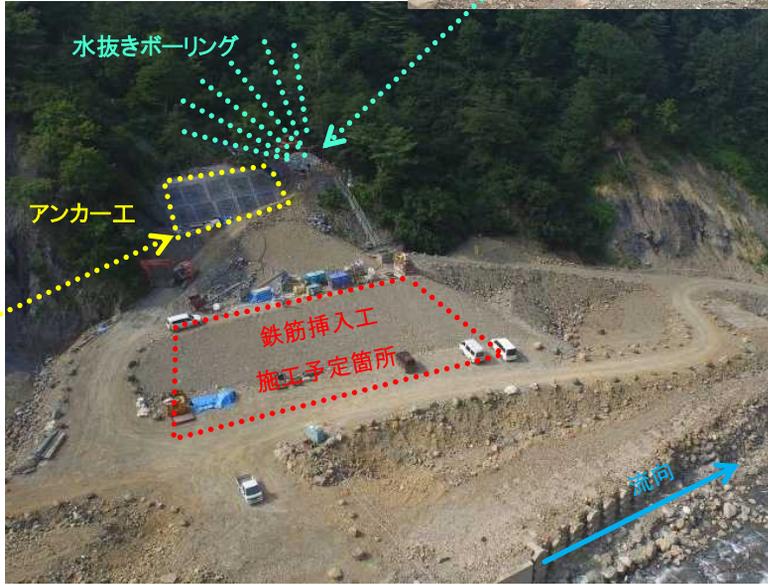


現場代理人
松澤 実

④当現場の法面対策工の一つ、水抜きポーリング工です。地すべりは地中の地下水位の状況によっても発生するため、この場所から放射状に水平ポーリングを行い排水し、地すべり地形内の地下水位を下げます。



⑤当現場の法面対策工の一つ、アンカー工です。堰堤施工箇所に地すべり地形があります。この地すべり地形を地盤に固定するためのワイヤーケーブルを地中深くに固定し、更にワイヤーの緊張を行い写真の受圧板で緊張荷重を引き受けさせることで地盤と地すべり地形を一体化します。



⑥現場全景と施工イメージです。地すべり対策はかなり手の込んだ工事だということがわかります。

湯ノ入沢砂防堰堤改築その4工事

姫川・落田経常建設企業体



現場代理人
勝野 幸男

梅雨明けの暑い日が続く中、8月初旬に南安曇農業高校の生徒さんが職場体験に来てくれました。専攻は環境クリエイト科の土木施工管理ということなのでコンクリートの品質管理試験、測量、重機の試乗体験などをしました。

暑い一日でしたが作業員の方達と美味しいスイカを食べながらコミュニケーションを取って頂きました。物を作る楽しさ、力を合わせるチームプレイ、土木の魅力を少しでも感じて貰えたら嬉しいなと思っております。未来のシビルエンジニアにエールを送ります。



①南安曇農業高校生徒による職場体験。到着した生コンクリートの品質を確認したり、②重機を試乗したりと、土木の魅力を十分に堪能したようです。



③現場全景。本年度は右岸側の補強を実施しました。この補強工事も本年度で大詰めです。



出張所管内でのできごと



編集後記

